

## 第4学年 総合的な学習の時間（国際理解） 学習指導案

日 時 令和5年11月2日（木）第2校時  
児 童 4年B組 30名  
指導者 藤原 悠大

### 1 単元名 世界のごみ問題を考えよう

### 2 単元について

不法投棄による環境汚染や、ごみ処理場の新增設に対する近隣住民の反対、焼却・埋め立てが追い付かない問題の総称を指す「ごみ問題」は現在、世界中で深刻化しており、日本でも問題視されている。ごみ問題によって生じる主な影響は、廃棄物処理に伴う温室効果ガスの排出や埋め立て地の不足、海洋プラスチック問題がある。日本の現状としては、国民一人につき1日に1キロのごみを排出していると言われている。また、国際廃棄物指標においての日本の総評は、ごみの量が他国と比べて少なく、適切に焼却処理を行えているが、リサイクル率が低いとされている。

本単元では、世界で起きているごみ問題を調べたり、日本で出たごみが世界の様々な場所に流れ着いていることを知ったりする中で、身近に出しているごみについて改めて考える機会としたい。そして、SDGs等の取り組みの中でこれからの将来を担っていく世代の子どもたちに、これからできることは何かを考えようとする態度を育てたい。

### 3 国際理解の目標

- BASIC-1（地理的項目－知識・理解）⇒【intake 活動】  
日本から出たごみが、世界各地に多く運ばれていることを知り、現状の問題点について知る。
- BASIC-2（文化・言語的項目－体験・経験）⇒【output 活動】  
日本や世界のごみ問題を調べた知識を活用し、身の回りのできることや様々な取組の共通点や相違点について考える。
- BASIC-3（情報発信・行動的項目－表現・意識）⇒【outcome 活動】  
世界の様々な取組を知ることで、将来への意思決定や行動に活かすようにする。

### 4 単元の目標

学習したことや調べたことを活用しながら、世界と日本が抱えるごみ問題についての理解を深め、身近な生活で出来ることを考える態度を育てる。

### 5 大空学園の研究にかかわって

研究仮説との関わりとしては、外国のごみ問題やそれに対する取組を日本と比較することで、外国のごみ問題についての理解を深め、自国の取組へと生かしていきたい。また、自分自身や家庭、学校でできることを考える機会を設けることによって、より主体的に問題に取り組む態度を育てていきたい。

## 6 指導計画

学習段階	授業の展開	評価の手立てと観点 □評価 ◆手立て
1次（1時間）	社会科のごみの学習と結び付けて、世界や日本のごみ問題の現状を知る。	□ふり返り
2次（3時間）	世界や日本のごみ問題について調べる。	◆インターネットや本などの資料を使って調べる。
3次（1時間） 【本時】	調べたことから、身の回りで出来ることを考える。	□発表・交流 □ワークシート
4次（2時間）	学習したことをもとに、新聞にまとめる。	□発表

## 7 本時の目標

- 世界や日本のごみ問題について調べたことを活用し、身の回りで出来ることを考える。

## 8 本時の展開

主な学習活動	□評価 ◆留意点	●国際理解の活動
<p>○単元の学習の流れを確認する。</p> <p>○前時までの調べ学習で、わかったことや気付いたことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界ではごみによって様々な問題が引き起こされている。</li> <li>・自分たちの家から出るごみには、処分のしづらい物がある。</li> </ul>	<p>◆外国と日本の現状を比較することで、外国への関心を高める。</p> <p>◆外国や日本が抱えるごみ問題は関係ないことではなく、自分たちの身近な取組から変えられることを理解する。</p>	<p>●日本が出しているごみが世界の国々の中で多いことを知り、現状の問題点について知る。</p> <p>【intake 活動】</p>
<p>【課題】 調べたことをもとに、身の回りでできることを考えよう。</p>		
<p>○調べ学習で詳しく調べていたことをもとにグループをつくり、身近に出来ることについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・むだな買い物はしない。</li> <li>・プラスチック製品の代わりになるものを使う。</li> <li>・リサイクルしやすいものを使う。</li> </ul>	<p>◆大きな問題に対して自分たちにできることがあることに気付かせる。</p>	<p>●調べ学習をもとに、身の回りで出来ることについて考える。</p> <p>【output 活動】</p>

<p>○交流を通して、他グループのアイデアから取り入れ、自分のグループのアイデアを深める。</p> <p>○グループで考えたことを発表する。</p> <p>○世界ではごみ問題に対して、どのような取組をしているのかを、資料を通して理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが考えた取組に似ている部分があった。</li> <li>・この取組ならこの問題を解決することができる。</li> </ul>	<p>◆交流を通して、自分の考えの幅を広くもてるようにする。</p> <p>□他グループの良いと思った考えを取り入れるだけでなく、なぜそう思ったのかを記録する。</p> <p>◆発表されたことをグルーピングすることで、他グループとの共通点や相違点に気付くようにする。</p>	<p>●世界の様々な取組を知ることによって、将来への意思決定や行動に活かすようにする。</p> <p><b>【outcome 活動】</b></p>
<p><b>【まとめ】</b> 自分たちの行動は、世界の問題解決につながっている。</p>		
<p>○本時のふり返しを行う。</p>		